

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 6 年度第 2 回弘前市認知症初期集中支援チーム検討委員会
開 催 年 月 日	令和 6 年 2 月 1 7 日（月）
開 始 ・ 終 了 時 刻	1 4 時 0 0 分 から 1 4 時 4 5 分まで
開 催 場 所	弘前市立図書館 2 階 視聴覚室
議 長 等 の 氏 名	中村 直樹
出 席 者	委員長 中村 直樹 副委員長 東谷 康生 委員 菊池 淳宏 委員 相馬 渉 委員 下田 肇 委員 小林 雅也 委員 三上 佳子 委員 佐藤 誠 委員 渡部 郁子 委員 佐藤 信隆 委員 古山 伸子
欠 席 者	松山 貴紀、平野 敬之
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	福祉部長 秋元 哲 介護福祉課長補佐兼自立・包括支援係長 伴 英憲 介護福祉課社会福祉主事 田中 佑
会 議 の 議 題	（１）令和 6 年度上半期弘前市認知症初期集中支援推進事業 実績について （２）令和 6 年度上半期弘前市認知症施策実施状況について
会 議 結 果	下記会議内容に記載のとおり
会 議 資 料 の 名 称	資料 1 弘前市認知症初期集中支援推進事業 実績報告書 資料 2 令和 6 年度 弘前市における認知症施策の実施状況 （４～１２月） 参考資料 1 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 認知症高齢者の日常生活自立度 参考資料 2 広報ひろさき／9 月 1 5 日号
会 議 内 容 （ 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 案件 4. 閉会

結 論 等)	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 案件 (1) 令和6年度上半期弘前市認知症初期集中支援推進事業実績について ・事務局：資料1説明、参考資料1説明 【質問・意見】 (東谷委員) 前回の会議において、相談件数は多い方が良いかと思い市の目標件数を質問した。市や他の相談窓口で対応できていることもわかり、件数の多い少ないで評価することではないと理解した。 (委員長) 件数の量を計る見方もあるが、どのように支援に繋げて経過をみていくか大事なのは質の部分であり、対象者の最善の利益を守っていくことが重要。引き続きチーム員の活動の継続をお願いしたい。 (2) 令和6年度上半期弘前市認知症施策実施状況について ・事務局：資料2、参考資料2説明 【質問・意見】 (小林委員) 認知症サポーターステップアップ講座はどこで開催されたか。 (事務局) 地域で4回、学校で1回となっている。地域では民生委員やわんわんパトロール隊入隊希望者など、学校では大学生を対象として行われた。 (小林委員) 認知症サポーター養成講座の開催と併せてチームオレンジ結成が広がっていくと認知症の方への支援体制が充実すると思う。他にチームオレンジ結成の広がりや動きはあるか。 (事務局) 市にチームオレンジ結成の報告はない。引き続き認知症地域支援推進員と協議を続けていく。 (委員長) 小・中学校で認知症サポーター養成講座が開催されている
----------------	---

が、ただいまサポート事業の爪 Q シールをそこで広報すればどうか。子どもが家庭に戻って両親へ紹介してもらうよう話してもらうのも一つのアイデアだと思う。

(三上委員)

認知症初期集中支援チームの対象とするケースの目標設定や終結について確認したい。

(事務局)

対象者の決定は弘前市認知症初期集中支援推進事業実施要綱による。支援方針、支援内容等を検討するためチーム員会議を開催しており、終結についてもチーム員会議で判断した後、次の支援者へ円滑に引継ぎを行っている。

(佐藤委員)

町会では地域ほのぼのの交流事業の協力者として高齢者に声かけを行っているが、全員が認知症サポーター養成講座を受けているわけではない。認知症の方への接し方を地元町会等に伝えたいがどうすればよいか。

(事務局)

認知症サポーター養成講座の受講をお薦めしたい。声かけ時の留意点のほか、認知症への理解が深まる内容となっている。開催の希望があればぜひ連絡いただきたい。

(古山委員)

認知症あんしん生活実践塾について。実践という名称に惹かれて申込みをしたが、2回目以降の内容が自分の学びたい内容とかけ離れており、欠席している。受講者と指導者の意図がずれていたかなと思う。

(事務局)

受講者の意図と塾の内容が乖離し過ぎないように担当者に伝えて検討します。

(東谷委員)

ただいまサポート訓練について。ただいまサポート事業の事前登録者の了解が得られれば、登録者のお住まいの地域で登録者にも参加してもらえれば、より良い訓練になると思う。

(委員長)

弘前市社会福祉問題対策協議会において、以前災害対応のワークショップを行った際、認知症の方の避難について一つのテーマとなった。市の認知症施策や事業と関連することと思う。今後それぞれの協議体や担当課を超えて、できる範囲検討していく必要を感じた。

	4. 閉会 ・会議録については事務局で作成後、委員の皆様へ送付し、内容を確認していただき、修正等おこなった後、市のホームページへ掲載します。
その他必要事項	